

とよひら・りんく NewsLetter

発行 札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会 「とよひら・りんく」事務局



[研修会の様子]

「終末期について」研修会を開催

2012年3月27日(火) 18:30~20:30

西岡会館(まちづくりセンター)にて、札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会「とよひら・りんく」の研修会を開催しました。テーマは「終末期について」です。

地域内の医療機関の医師・地域連携室、診療所の医師、福祉施設の管理者・看護師・介護福祉士、訪問看護師、行政担当者等、43名の出席がありました。

研修会開催の背景

~地域ぐるみで今後の終末期の在り方を考えては・・・

1月発行のNewsLetter第④号にも掲載致しましたが、2012年1月17日に地域の入所系施設の方にお集まり頂き、意見交換会を開催しました。

「医療機関、訪問看護ステーションとの連携」「入所者の医療ニーズの状況」「終末期についての対応」等、様々なテーマで意見交換を行った中で、施設の体系上の違いはありますが、入居者の急変時や「看取り」「終末期」の対応について、問題意識を持たれている施設が多いということが分かりました。

1施設で研修会を開催することも、難しい面もあるようで、地域ぐるみで数回に分けて、テーマを決め、研修会を行う必要があると感じ、今回の研修会開催に至りました。

今回は、最も意見が多かった「終末期について」をテーマにして、開催しました。今後も継続して開催したいと考えております。

参 考 2012年1月17日開催「入所系施設意見交換会」でのご意見(一部)

※NewsLetter第4号にも掲載

■急変時に適切な対応ができるように、現場の介護福祉士の教育が大切だと考えている。各機関内での研修も限界があると感じている。

■施設体系は違うけれども、抱えている問題は似ていることが分かり、共感する意見や参考になる部分もあった。

■看取りについて、取り組まなければならないと実感した。

■終末期の対応を行っていく上では、ハード面の問題が大きいと感じている。

■医療ニーズも平均介護度も上がっており、対応に苦慮することが多くなってきた上、より医療側との連携の必要性を感じている。

継続的な取り組みが必要

今後、終末期の対応を行う上で、足りない部分、必要な部分などグループワークで意見交換を行いました。

研修会やグループワークでの意見交換を通し1機関で取り組むのではなく、地域で対応する必要性を感じました。

今回の研修会では、まず、とよひら・りんく事務局から今回の研修会の目的・背景の説明の後、西岡病院の五十嵐知文先生による「終末期について」の講義を行いました。最後にグループワークにより複数の施設の多職種による課題の抽出を行いました。

—医療側からの意見—医療機関（病院、診療所）医師、看護師、ソーシャルワーカー

- ・医師、看護職、介護職等、それぞれの職域が違ふと知識も違ふので、カンファレンス等を通じて、共通認識を持ち、対応することが必要ではないか。（在宅療養支援診療所医師）
- ・医療機関では、業務の中で終末期に関わることがあるが、施設の職員の不安が見えなかったので、いろいろな意見が聞けて、参考になった。（医療機関看護師）
- ・医療側と介護側で、観察する視点が違ふので、共通のものが標準化できると良いのでは。（医療機関看護師）
- ・看取りを1つの選択肢として、連携方法や体制を医療側・介護施設側が協働で、加えて地域で準備していけば良いと感じた。（医療機関ソーシャルワーカー）

—介護施設側からの意見—介護施設 管理者、看護職、介護職等

- ・終末期の対応についての知識が不足している上、ご家族にどのように関わっていくか分からない部分が多い。テーマを分けて、研修会を継続して欲しい。（有料老人ホーム介護職）
- ・経験が無いので、不安がある。また家族との関わりが難しく、死後にトラブルの可能性があるので・・・と感じることもあり、進められない。（有料老人ホーム介護職）
- ・何を準備して良いか、医療機関とどう連携して良いか、まだ分からない部分が多い。（グループホーム介護職）
- ・施設入居時に、終末期の対応まで想定していないケースが多く、今後は入所時にご家族と終末期の対応を事前に共有した方が良いと感じた。（グループホーム介護職）

アンケートより

出席された方々にアンケートを行いました。
ご意見の一部をご紹介します。

- ◆看取りを1つの選択肢として考える必要性を感じた。（グループホーム管理者）
- ◆地域で意見を聞きながら、複数の施設で考えていけばよいと思った。（グループホーム管理者）
- ◆「終末期について」考える時間が持てたことと他の施設の方とお話が出来、良かった。（老健施設看護師）
- ◆看取りについては、ご家族のケアも大切であると改めて感じた。（有料老人ホーム介護支援専門員）
- ◆終末期について、少し視点が変わったと思う。（有料老人ホーム介護職）

また、「開催して欲しい研修会」についてもアンケートを行い、「認知症ケア」「終末期ケアと倫理的諸問題」「終末期から看取り、エンゼルケア」の部分の意見が多かったです。この意見を参考に、今後も継続的に研修会を開催していきたいと考えています。

札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会



合同会議の情報、NewsLetter、訪問薬剤指導、各種書式のダウンロードも可能です。ぜひご覧ください。

ホームページ <http://www.toyohiralink.jp>

2011年度の活動は、この研修会で終了致しました。本活動に際しまして、地域の皆様のご協力、ご意見を頂き、ありがとうございました。4月以降の2012年度の活動につきましては、近日中にご連絡を致します。

今後とも、本活動へのご理解とご協力をお願い致します。ご意見・ご質問がございましたら、下記までお願い致します。

とよひら・りんく事務局 西岡病院 地域連携室 岡村・川村

電話 011-853-8322(平日 9-17時) メールアドレス: okamura@keiwakai.jp